

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室

実施報告書

埼玉県 狭山市立堀兼中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年10月11日 (金)

■ク ラ ス : 2年2組 (32名)

■オリンピアン : 黒須 成美 先生 (近代五種) 【出場オリンピック/ロンドン大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、運動の時間は、協力して行うこと、全力で最後までやりきること、の2つを意識して取り組むことを確認。
- ・準備体操として、ダイナミックストレッチ、タッチ鬼を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・近代五種競技をイメージしたリレーを班対抗で実施(全2回)。
- ・静と動を取り入れた4種目を組合せて体育館を1人一周する。
- ・2回目のスタート前に作戦タイムを設け、より早くゴールする方法を話し合う。

4. まとめ



- ・授業の冒頭に意識して取り組むよう伝えたことが実際にできたかを確認。
- ・次の座学の授業では、リレーで工夫した点等について改めて話し合ってもらおうと予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・オリンピックシンボルやクーベルタンの言葉、近代五種競技について解説。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くす、全力で取り組む、諦めない、努力する」、「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する、協力する、思いやり、応援する」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝、フェアプレー、ルールを守る」と説明。

3. グループワーク



- 発問①：運動の時間の作戦タイムで話し合った(工夫した)点を書き出してみよう。
- 発表①：「紙コップを立てることに時間をかけないようにスピードを重視した」「人それぞれの良いところを活かした」(エクセレンス)
 「前の人が頑張ってくれたから自分も頑張った」「応援した」(フレンドシップ)「ルールを守りベストを尽くした」(リスペクト)
- 発問②：今後の日常生活で(例：音楽会、部活、習い事など)目標を達成するために活かせることをオリンピックバリューに当てはめて書き出してみよう。
- 発表②：「学総に向けて努力する」「負けていても最後まであきらめずにベストを尽くす」「体育祭の大縄跳びでベストを尽くした」(エクセレンス)
 「皆の心を一つにする」「お互いを尊重し思いやりを持つ」「音楽祭に向けて皆で協力する」(フレンドシップ)
 「けやき祭に来てくれた人に感謝する」「感謝の気持ちを伝え合う」「校則を守る」「家族に感謝する」(リスペクト)

4. まとめ



- ・オリンピックバリューはアスリートだけのものではなく、皆も日常生活の中で意識することができる。目標に向かって頑張ることで支えてくれる人が現れ、人とのつながりを実感することがリスペクトにつながる。
- ・東京2020大会では埼玉県でゴルフ、バスケットボール、サッカー、射撃の4競技が行われる。
- ・オリンピックをさらに詳しく知りたい時には、日本オリンピックミュージアムでさらに学びを深めてほしいと伝え、授業終了。

実 施 内 容

■期 日 : 2019年10月11日 (金)

■ク ラ ス : 2年3組 (32名)、2年4組 (33名)

■オリンピアン : 桑井 亜乃 先生 (ラグビーフットボール) 【出場オリンピック/リオデジャネイロ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、運動の時間は「全力」、「仲間を大切にする」、「ルールを守ること」の3つを意識して取り組むことを確認。
- ・準備体操として、タグ取り鬼ごっこ、数集まり、パス練習を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・タグラグビーを2リーグに分かれ、班対抗で実施。(各班2試合ずつ)
- ・試合に出ていない班は、次の試合の作戦を相談あるいは試合を応援をする。

4. まとめ



- ・授業の冒頭に約束した3つ(全力、仲間を大切にする、ルールを守る)の事がそれぞれ守れたかを確認。
- ・座学の時間は、オリンピックについて詳しく学んでいくと伝え、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・この時間はオリンピックバリューについて皆と一緒に考えていきたいと、授業の目的を確認。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、諦めない心、全力で取り組む」、「フレンドシップ＝友情、仲間を大切にする心」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝する心、ルールを守る」と説明。

3. グループワーク



- 発問：自分の夢や目標を書き出してみよう。それを実現するために何ができるか意識したいことや取り組みたいことを考えてみよう。
- 発表：「県大会で上位入賞する→バスの精度を上げる、守備の強化、シュートの精度を上げる」(エクセレンス)
 「音楽会で金賞を取る→クラス全員で協力する、お互いを認め合う」(フレンドシップ)
 「柔道大会で優勝する→相手や仲間を大切にする」(フレンドシップ)
 「柔道大会で優勝する→応援してくれる人や審判に感謝する」(音楽会で金賞を取る→仲間を大切にする)(リスペクト)

4. まとめ



- ・ラグビーやオリンピックに興味関心を持ったかを確認しながら、東京2020大会では、埼玉県でサッカー、ゴルフ、射撃、バスケットボールの試合が行われる。オリンピックを身近に感じられる貴重な機会であり、少しでも興味を持ってほしい、と伝え授業終了。

実 施 内 容

■期 日 : 2020年1月11日 (土)

■ク ラ ス : 2年1組 (33名)

■オリンピアン : 千田 健太 先生 (フェンシング) 【出場オリンピック/北京大会、ロンドン大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、オリンピックがなぜ開催されているのか、オリンピックバリュー(エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト)についても2時間を通じて考えていくと授業の目的を確認。
- ・風船を使用してデモンストレーションを実施。
- ・準備体操として、ストレッチ、じゃんけん勝ち抜け、フェンシングの動きを実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・2人組でフェンシングスタイルのエクササイズを実施。(①ボールキャッチ、②2人同時キャッチ、③フェンシングの動きでキャッチ)
- ・フェンシングスタイルリレーを6班対抗で全2回実施。

4. まとめ



- ・運動の時間は様々なフェンシングの動きを体験してもらったが、次の座学の時間ではこの時間に皆が実践したことを踏まえ、初めに伝えたオリンピックバリュー(エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト)について考えてもらいたいと伝え、授業を終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・クーベルタン、嘉納 治五郎、オリンピックシンボルの意味等について解説し、オリンピックを開催することにどのような価値があるか、オリンピックバリューに沿って伝えていく、と授業の目的を確認。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューを、「エクセレンス＝卓越、努力する、ベストを尽くす、上手いづくために考える」「フレンドシップ＝友情、協力する、チームワーク、コミュニケーション、助け合う」「リスペクト＝敬意/尊重、フェアプレー、感謝、ライバルへの敬意」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：夢や目標を達成するためにオリンピックバリューをどのように活かせるか、意識したいことや取り組みたいことを考えてみよう。
(勉強、部活、学校行事、習い事、等)

発表：各班の代表者1名が前に出て発表。(抜粋、順不同)

- 「それまでやってきた努力をムダにしないでベストを尽くす」「最後まで諦めない」「主体性を大切にする」(エクセレンス)
- 「仲間を大切にしてチームワークを高める」「相手のことを考え自己中心的にならない」「励まし合う」「協力する」「助け合う」(フレンドシップ)
- 「周りの人たちの応援で自分を高める」「相手に敬意を持つ、行動に表す」「仲間や相手に感謝の気持ちを持つ」(リスペクト)

4. まとめ



- ・今日学んだオリンピックバリューについての理解が深まったかを確認。
- ・北京大会ではオリンピックに出場できたことに満足し2回戦で敗退したが、より高い目標を掲げなければ良い結果にはつながらないと考え、ロンドン大会ではメダル獲得を目標に掲げ、その目標を達成することができた。
- ・夢に向かう時はより高い目標を掲げ、同じ目標に向けて頑張る仲間と切磋琢磨してほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



2年4組



■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



2年3組



2年4組



■ 修了書贈呈

